



長谷川知子 さん



町田市に住んでいる絵本作家 はせがわともこ 長谷川知子 さんの本を紹介します。
文学館や図書館で閲覧・貸出できます。ぜひ手に取ってみてください。

作家紹介

1947年、北海道北見市生まれ。武蔵野美術短期大学卒業後、デザイナー見習い、高校美術講師などを経て1972年、『ボタン貝船の兄弟』でさし絵画家としてデビュー。1979年、『ひつじぐものむこうに』（あまんきみこ／作）で第26回サンケイ児童出版文化賞を受賞。『兎の眼』（灰谷健次郎／作）など数多くのさし絵を描く。自作絵本としては『くらやみのかみさま』など。1980年から町田市に暮らす。

作品介绍



自作絵本 文も絵も長谷川さんが書いています



『これが、ぼくのかあちゃん』（童心社、1995年）

ぼくのかあちゃんは、おしゃれしてすましている
と、かっこいいんだけど、実は、とってもそそっかしいんだ。

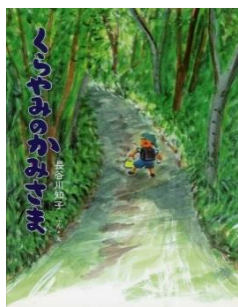
『ばばちゃんやさいがいっぱいだ!』(文研出版、1998年)
 最近、ばばちゃんたちの様子がオカシイ。探偵団を作
 って追跡していくと、貸農園で畑仕事をしていた!な
 ぜか、おれらも手伝わされることに。こんなのないよ
 ~って言ってただけど…。



『メンコ大王ぼくのもの』(文研出版、1999年)

ばあちゃんはメンコが強い。何度も練習するけどなかなか勝てない。今日こそは、ばあちゃんを負かしてメンコ大王になるぞ!

『パパいっぱいだっこして!』(PHP 研究所、2001年)
 わたし ときどき パパなんて いないほうが
 いいって おもっちゃう。だってね…



『くらやみのかみさま』

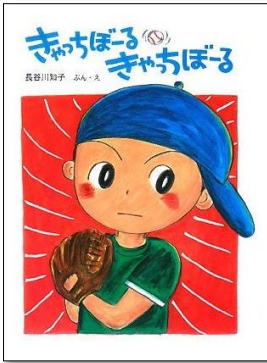
(新日本出版社、2002年)

ある夜、お母さんからおつかいを頼まれた。途中の坂道は、真っ暗ですごくこわいんだ。目をつぶって坂道を全速力でかけおりたぼくがぶつかったのは…。

『おばさんはいつ空をとぶの』(ポプラ社、2005年)

のんちゃん一家は郊外のアパートに越してきました。となりの家には、そでがダブダブのセーターを着たおばさんが住んでいます。のんちゃんは、おばさんのそでが気になってしかたありません。





『きゅちぼーる きゅちぼーる』

(新日本出版社、2008年)

おやすみの日には、ゴルフに行くかゴロゴロしているかのお父さん。ある日曜日、しゅんたは、お父さんをキャッチボールに誘います。かっこよく受けてたっただお父さんでしたが…。

『がっこうにヤギがきた！』(新日本出版社、2014年)

小学校に2頭のヤギがやってくることになりました。飼育小屋のそうじをしたり、役割分担を決めたり、みんなでヤギを迎える準備に大忙しです。実際にヤギの飼育を学校教育に取り入れた、新宿区立東戸山小学校を取材して描かれた作品。



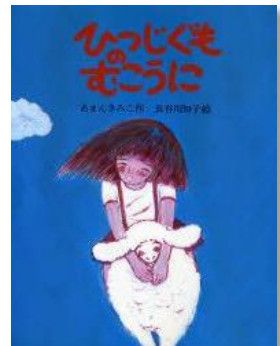
さし絵をしたおはなし おはなしはべつの作家さんが書いています

◆絵本

『ひつじぐものむこうに』 あまんきみこ／作

(文研出版、1978年)

転校してしまった友達に会いたい気持ちや寂しさを、空想的なストーリーと幻想的な絵で表現した作品。1979年、第26回サンケイ児童出版文化賞受賞。





『えんぴつびな』長崎源之助／作(金の星社、1984年)
あばれん坊のシンペイちゃんが、わたしにくれたのは、小さなエンピツで作ったおひなさま。喜びわたしに、あした三人官女も作ってきてくれると約束したのですが…。



『おれはなにわのライオンや』さねとうあきら／作
(文溪堂、1995年)

戦争中、大阪の天王寺動物園で猛獣 26 頭が殺された実話をもとに作られた絵本。実際に天王寺動物園を取材し、制作されました。



『みててね、おじいちゃん』藤田千津／作
(文研出版、2002年)

ぼくは、おじいちゃんに見ててもらおうと、なんでもできちゃうんだ。でも、おじいちゃんが病気になっちゃった。ぼくは、おじいちゃんに何ができるかな…。

『教室はまちがうところだ』蒔田晋治／作
(子どもの未来社、2004年)

「教室はまちがうところだ／みんなどしどし 手をあげて／まちがった意見を 言おうじゃないか／まちがった答えを 言おうじゃないか」という一節で始まるこの絵本の詩は、もともとは作者が中学校の教員をしていたときに学級新聞に載せて生徒に呼びかけたもの。



◆読みもの

『兎の眼』 灰谷健次郎／作(理論社、1974年)

新米教師・小谷先生が、仲間の教師の協力を得ながら、塵埃処理場に住む鉄三を少しずつ理解し、信頼を得ていく過程と、教師と子どもたちの心の交流を描いています。



『ねこ ねこ こねこ おまえはどこだ』 古田足日／作
(童心社、1974年)

学童保育所・さくらんぼクラブで飼っていた、こねこ「しっぽとら」が行方不明に。子どもたちは協力して探し始めますが…。



『おほしさまになったたいこ』 松谷みよ子／作
(講談社、1976年)

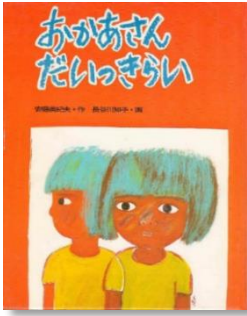
かみなりさまの子・ごろちゃんは、勉強が大嫌い。居残り勉強で、たいこたたきの練習をしますが、嫌になって、たいこを窓から捨ててしまいます。



『どーだっ!』 後藤竜二／作
(新日本出版社、2015年)

小学生の女の子の目線で、学校や家での何気ないできごとが日記のように綴られています。くやし
いこと、笑っちゃうこと、うれしいこと……小さな発見を重ねて成長していく子どもの姿が、表情豊かに描かれています。





『おかあさんだいきらい』 安藤美紀夫／作
(童心社、1978年)

ちかちゃんは仲良しのたかしくんと遊びたいのに、お母さんはよい顔をしません。ある日、たかしくんの家にお母さんがどなりこんで、ちかちゃんはたかしくんから絶交されてしまいました。

『ヨッチとケム子とゴリラ先生』 赤木由子／作
(新日本出版社、1979年)

無口でらんぼう者のヨッチは、言葉よりも手が先にててしまいます。でも、本当は、「ことばよりも、もっとだいじなもの」を持っていたのです。



『びんぼうがみとふくのかみ』 大川悦生／作
(ポプラ社、1980年)

働き者の夫婦が住む家で、ある日、天井から不思議な人が降りてきました。それは、100年前からこの家に住みついている、びんぼう神だったのです。

『先生のたなこになりたい日』 宮川ひろ／作(銀河社、1981年)

忘れ物をした人は、先生の「たなこ」になって、大家である先生のいうことをきかなくてははいけません。でも昭平は時々、たなこになりたいくて、わざと忘れ物をします。なぜかというとね…。

『あかね色の風』 あさのあつこ／作(新日本出版社、1994年)

白いフヨウの花のように笑う千絵と、外見も性格も正反対の遠子。反発しながらも惹かれあう思春期の少女たちの淡い友情を描く。



●後藤竜二／作「1ねん1くみ」シリーズ（ポプラ社、全25巻）

『1ねん1くみ1ばんワル』（1984年）

『1ねん1くみ1ばんげんき』（1985年）

『1ねん1くみ1ばんなかよし』（1985年）

『1ねん1くみ1とうしょう』（1987年）

『1ねん1くみもうすぐ春』（1987年）

『1ねん1くみ1ばんゆうき』（1988年）

『1ねん1くみ1ばんびじん』（1989年）

『1ねん1くみ1ばんいいやつ』（1990年）

『1ねん1くみ1ばんおかねもち』（1991年）

『1ねん1くみ1ばんがんばる』（1992年）

『1ねん1くみ1ばんびっくり』（1994年）

『1ねん1くみ1ばんやるき』（1995年）

『1ねん1くみ1ばんひみつ！』（1997年）

『1ねん1くみ1ばんこわ〜い！』（1998年）

『1ねん1くみ1ばんでっかい！！』（1999年）

『1ねん1くみ1ばんふしぎ？』（2001年）

『1ねん1くみ1ばんやさし〜い』（2001年）

『1ねん1くみ1ばんえらい！』（2002年）

『1ねん1くみ1ばんわがママ』（2003年）

『1ねん1くみ1ばんドタバタ！』（2004年）

『1ねん1くみ1ばんあまえんぼう』（2005年）

『1ねん1くみ1ばんあったか〜い！』（2006年）

『1ねん1くみ1ばんくいしんぼう』（2007年）

『1ねん1くみ1ばんジャンプ！』（2008年）

『1ねん1くみ1ばんサイコー！』（2009年）

元気でわんぱくな“くろさわくん”と、気が弱くて泣き虫の“ぼく”こと“しんくん”の友情を中心に、ぶつかり合いながら心を通わせていく「1ねん1くみ」の仲間たちの成長が描かれています。長谷川さんは、躍動感あふれる筆致と生き生きとした色使いによって、子どもの目に映る世界を描きだしています。

なお、作者の後藤竜二さんも町田ゆかりの作家です。





かみしばい

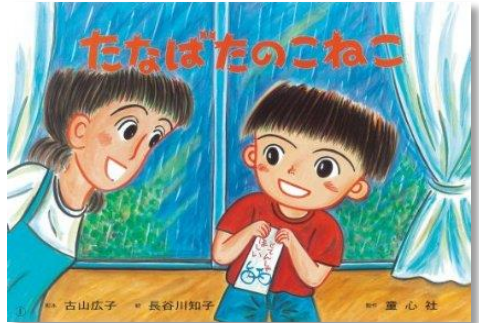
『どきどきうんどうかい』 ねじめ正一／脚本
(童心社、2005年)



今日は運動会。お父さんは朝からはりきってる。みんなも楽しそうだけど、ぼくにとっては、どきどき運動会。お父さんは大きな声で応援してるけど、かけっこで一番になれるかな、なれるかな。なれないかな…。

『たなばたのこねこ』 古山広子／脚本(童心社、2007年)

もうすぐ七夕。雨にぬれてないてるこねこを見つけたてっぺいくんは、お母さんにうちで飼ってもいいか聞きましたが、許してもらえませんでした。てっぺいくんが、ほしかった自転車のかわりにお星様をお願いしたことは…。



読んでみたい本があったときや、
ここにのっていない長谷川さんの本について知りたいときには、
文学館や図書館のカウンターにお声がけください。

発行 町田市民文学館 ことばらんど
2014年7月 (2016年5月改訂)